

第25回全国少年フェンシング大会個人戦参加資格

主な変更点は、

- ①各県登録人数の50%→40%(小数点以下切り上げ)とする。
- ②ブロック推薦は全種別同人数とする。
- ③23年度登録数に応じたブロック推薦数の見直し。

協会より各支部へ、5月末日の登録数の40%に当たる各支部の参加人数を知らせる。

詳細は以下の通り。

- 1)全ての参加選手・監督は平成24年度(社)日本フェンシング協会登録済みの者とする。
- 2)全ての参加選手は、保護者および支部協会長の承認を得た小・中学生とする。
- 3)“クラスA 中学生の部”および“クラスB 小学4年生～6年生”の部のフルーレ個人戦は、以下のいずれかの資格を得たものが参加できる。

①各都道府県支部における出場資格

各支部は、2012年5月31日時点の当該クラス(クラスA・B)の各支部登録者数の40%以内の選手に、予選競技会により参加資格を付与するものとする。

②各ブロックにおける出場資格

各ブロックは、次表の人数以内の選手に、予選会または推薦等により参加資格を付与するものとする。

各ブロックの出場者数表(小学4～6年女子も他の種別と同じ人数とする)

ブロック	24年度推薦者数	23年度推薦者数	23年度登録者数	
			中学生	小学生
北海道	1人	1人	9	1
東北	6人	5人	84	111
関東	8人	8人	200	174
北信越	6人	8人	69	50
東海	4人	4人	53	57
近畿	6人	6人	89	58
中国	3人	2人	35	26
四国	2人	2人	29	28
九州	2人	2人	28	30
計	38人	38人		

③社団法人日本フェンシング協会は、下記に該当する選手に参加資格を付与する。

- i) 主管団体(東京都)が推薦する選手8名。2012年度は、東日本少年選手権のフルーレ種目上位8名に参加資格を付与する。
- ii) 海外派遣等のフルーレ種目の代表となった選手(中学生)のうち、代表選手としての活動(合宿、大会参加)等により、各支部およびブロックで行われる予選会等への出場が困難と認められる選手には、本協会が参加資格を付与する。

4)ノービス・小学3年生～4年生の部については、参加制限を設けない。

5)クラスA・中学生の部、エペ・サーブル種目については、参加制限を設けない。但し、両種目とも男子60名 女子50名を大きく超える場合は、参加制限を行う場合がある。その場合は、各都道府県の上位順位に従い、出場資格を付与するものとする。